

平成27年度愛知県立常滑高校生ポスター



多くの経験をつんだ税関の目と人間の数万倍もある麻薬探知犬の鼻を強くアピールして、麻薬をつまようちとすの無駄だと伝えようというコンセプトで制作しました。ポスターは「ばつ」に見えて強そうに見えるデザインにしました。ポスターに描かれた人物と麻薬探知犬が「あいつ持っている」と話しているように見えます。きっと麻薬密輸犯も、これはマズイと思うはずです。



偽ブランド品は、知的財産侵害物と法律で禁止されています。たとえ少しデザインが違っていても、権利の侵害になります。そのことを理解していない方や、知らない人達にわかってほしい、と思いました。カバンの中身を透視したようなデザインにし、隠しても必ず見つけ出す様子を表現しました。これを機にいろいろな人に伝えていければと思います。



近年、偽ブランド品は多くのものがしっかりと見ないと判らないぐらいに作られるようになってきています。そのことを伝える為、このポスターには一つだけ偽物のバッグが紛れ込んでいます。ポスターを一瞬見ただけでは違いが判らず、一つ一つしっかりと見ると違いが判ります。違いを見つかる為にしっかりと見よう、海外に行った時にもよく見て、慎重に買い物をしてほしいです。

キャッチコピーは分かりやすいようにシンプルにしました。このポスターを見て、偽ブランド品を買う人が少しでも減るといいなと思っています。



薬にお金をかせぎたい、薬によって快楽を得たい等の理由から法律を無視して商品や生物、薬物を輸入、輸出する人達がいいます。そんな悪人を見つけ出し、密輸を阻止してみせるという強い意志を持つ税関職員の方々と麻薬探知犬をイメージして描きました。



このポスターは「運び屋」を防止するために描きました。海外旅行に出かけた際に、知らない人から荷物を預かり、運び屋として利用されたために、重い罪として裁かれてしまうことを知ってもらいたいと思います。重大な犯罪であることを伝えるために、画面全体の色の鮮やかさを低くし、人の表情が目立つように描きました。



麻薬や拳銃を、荷物やさまざまなものに紛れ込ませて密輸している、とニュースで聞いたことがあり、国内に入れない、という事を伝えるためにポスターを制作しました。鞆の中に隠れている麻薬を見つかる場所を税関イメージキャラクターであるカスタム君を用い、税関の人たちによって麻薬や拳銃から日本が守られているということを表しました。



麻薬や拳銃、コピー商品など、密輸しようとすることを阻止する様子を描きたいと思いました。ポスターでは注射器、ドラッグ、拳銃に大きな「バツ」を図柄に使うことでそれを表現しました。



税関では不正薬物以外にも、知的財産侵害物品も取り締まれていることを多くの方は意識していないと思います。たとえ国内に偽物だと知らずに持ち込んだとしても、没収されるだけでなく、重い罰則が科せられることをポスターを通じて多くの人に知ってもらいたいです。



絶滅の危機にある動植物を密輸入によって国内に持ち込ませないという事を、並べられた荷物に混じる動物で表現し、涙でその危機を訴えるよる監視や取締りの活動を、手全体を暗めにして注目を集めたい所が明るく、光のあたる部分を明るい色で塗る工夫をしました。この作品には、もう一度ワシントン条約について改めて深く考えてもらい、一人でも多くの人に密輸入に対する危機感を持って欲しいという思いが込められています。



違法なものと知らずに持ち込んでしまっても、「知らなかった」という事を伝えるために制作しました。「知らなかった」という前に、何をもち込んではいけないのか、持ち込まないためにはどうすればいいのかをポスターを通じて考え、知ってほしいと思います。



私は麻薬探知犬をテーマにポスターを製作しました。麻薬探知犬には麻薬の匂いを覚える訓練があることを調べてみてはじめて知りました。その訓練のおかげで麻薬などの侵入を防いでいることがわかり、とても驚きました。ポスターでは箱の中に入っていた大麻や危険な薬を麻薬探知犬が見つけた、活躍している場面を描きました。



税関は密輸の取り締まりも行っています。その中でも、絶滅の危機にある動植物の国内への持ち込みも取り締まられているということが印象に残りました。PRポスターでは「絶滅の危機のある動植物の取り締まりをしている」ということを伝えられるようにポスターを描きました。